

令和6・7年度 練馬区教育委員会教育課題研究指定園
研究発表報告



練馬区立光が丘むらさき幼稚園

主題設定の理由

- ・在園児数が減少
- ・多様な発達や状況の幼児が在籍
- ・途中入園が多い

- ・会計年度任用職員である介助員が配置されている
- ・大人の数が多い

- ・コロナ禍に乳幼児期を過ごした世代
- ・入園前に様々な経験が乏しい

課題

安定した学級運営

幼児同士の関わりの育ち

教職員間の共通理解

このような実態と課題から、
主題を次のように設定した

多様性を尊重し、
一人一人が輝く幼稚園を目指して

～共に育つ・共に育む
教育課程の編成を考える～

研究方法

1

長期指導計画
の見直し

2

事例検討

+

研究保育
講師助言

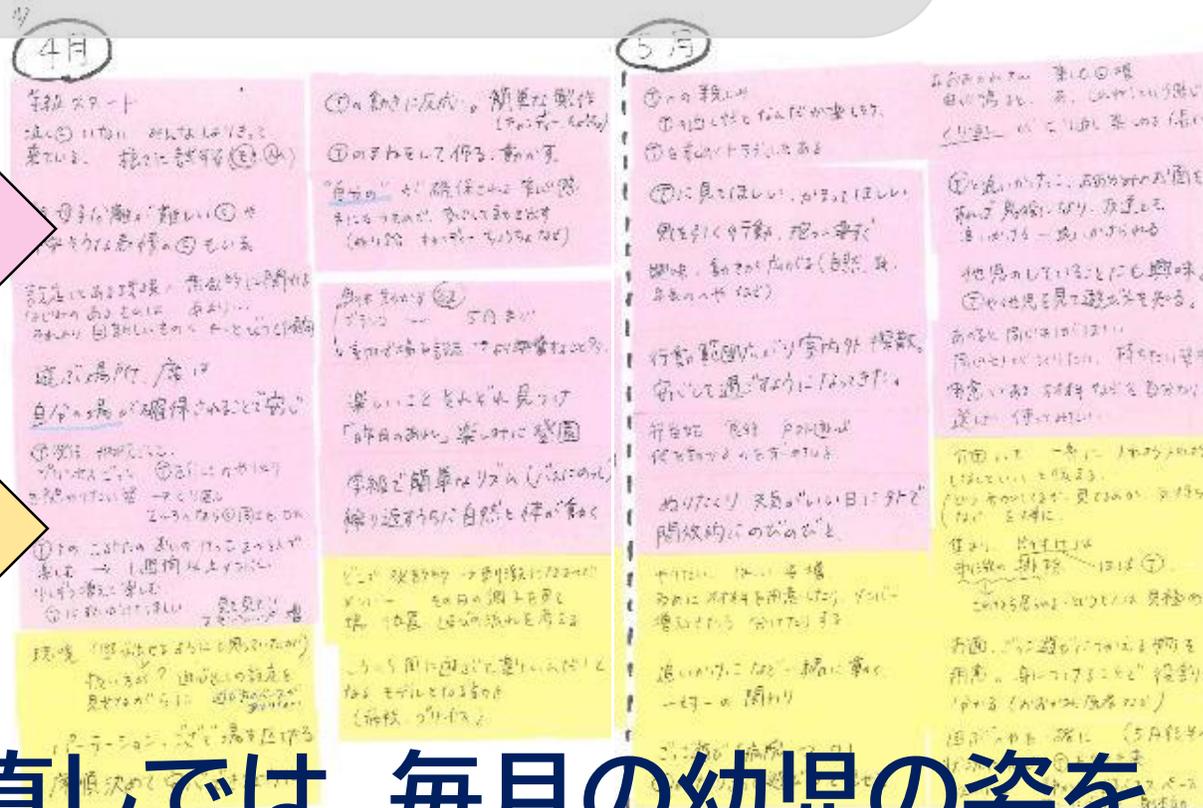
研究は、上記の二つの柱で
それぞれに講師の指導助言を受けて進めた

1. 長期指導計画の見直し

(1) 毎月の幼児の姿と指導のポイントを振り返る

幼児の実態

指導のポイント



長期指導計画の見直しでは、毎月の幼児の姿を付箋を使って振り返り、指導のポイントを協議した

5歳児・2学期

気の合う友達2, 3人と思いや考えを出しながら遊ぶ
友達や教師と一緒に体を動かして遊ぶことが楽しい!

9月

幼児の姿

新しい環境
嬉しい!不安...

思いや考えを出し合いながら
遊びを進める

一人一人が自分の思いを出しているか
見守り、必要に応じて援助

1学期に親しんだ遊びを
思い出せるような環境の準備

環境・援助のポイント

どういうこと?
調べてみよう!

勝って嬉しい!
負けて悔しい...もう嫌だ

力を発揮する喜び

ルールのある遊び

体を動かす心地よさ
力を発揮できる喜びを感じられる機会

勝ち負けのある遊び
みんなが楽し

盛り上げ・応援・励まし

一緒に体を動かし楽しむ

幼児の実態の
キーワード

指導のポイントの
キーワード

協議を繰り返し、それぞれの時期の幼児の実態と指導
のポイントのキーワードを抽出した

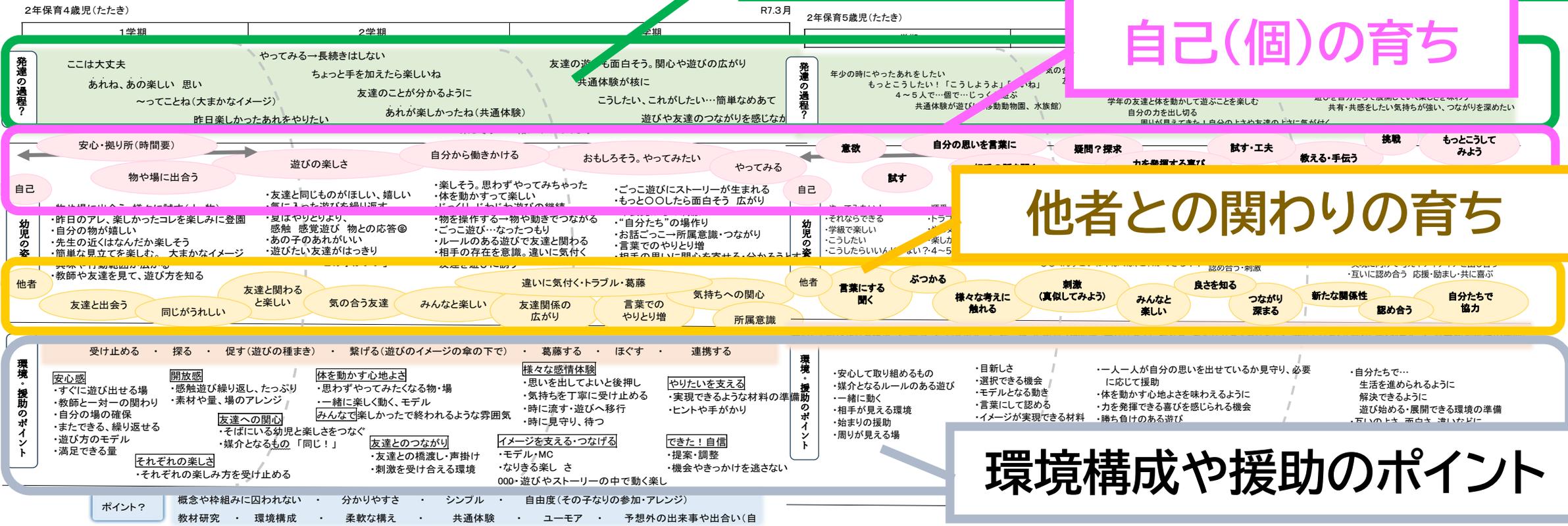
(2) 指導計画のたたき台を作成

幼児の育ちの過程を示すキーワード

自己(個)の育ち

他者との関わりの育ち

環境構成や援助のポイント



2年間の育ちの流れと指導のポイントを整理し、
 長期指導計画のたたき台をこのように作成した

しかし、この表のような示し方では、多様な実態に応じた指導の内容を示すことが困難である

指導のポイントは
時期で分けにくい。

子どもたちの
育ちの過程には
揺れがある。

その年により
集団の特性が
大きく異なる。

ねがいを出し合う

+
講師助言

(3) 私たちの「ねがい」を共有



まずは「安心」

自己の育ち

他者との関わり
の育ち

最終的に願うのは
子どもたちの
ウェルビーイング

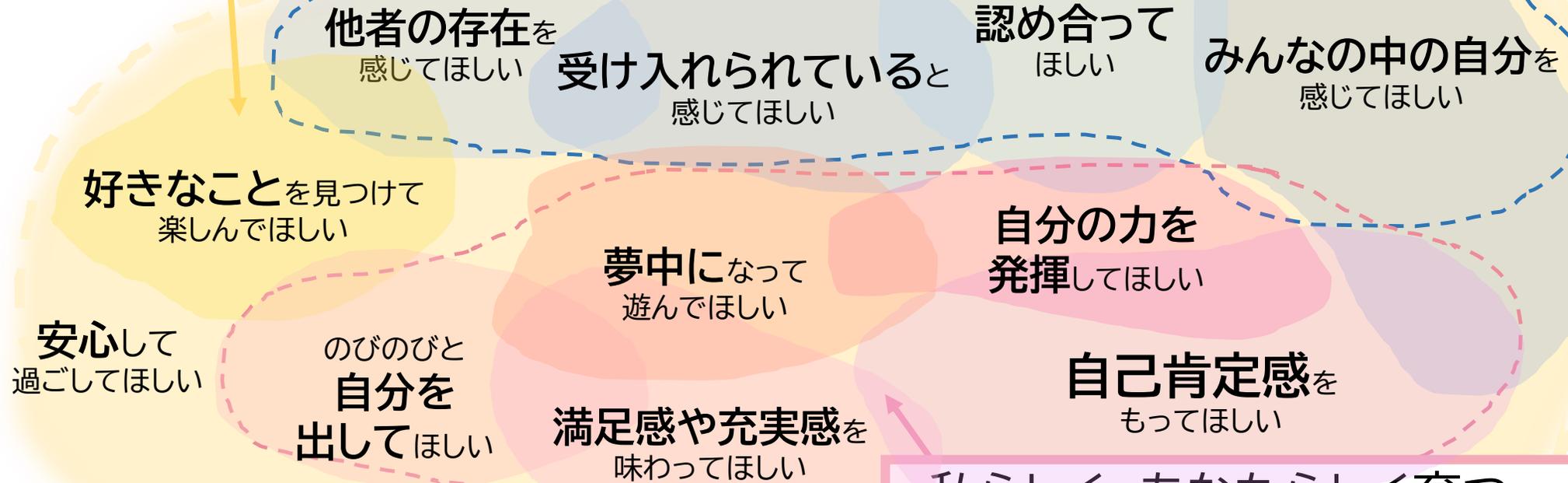
こんな集団に
なってほしい

そこで講師の助言を受け、2年間の園生活で、子どもたちに育みたい「ねがい」を共有することにした

(4) 私たちの「ねがい」～子どもたちにこうなってほしい姿

共に育つ 育ち合う
→関係性の育ち(協働的)

好きなことを
見つけて取り組む →主体的



私らしく、あなたらしく育つ
→自己発揮する過程(個別最適)

入園 → 修了

協議を重ね、入園から修了までを図のように整理した

2. 事例検討～幼児の姿から考える

事例検討

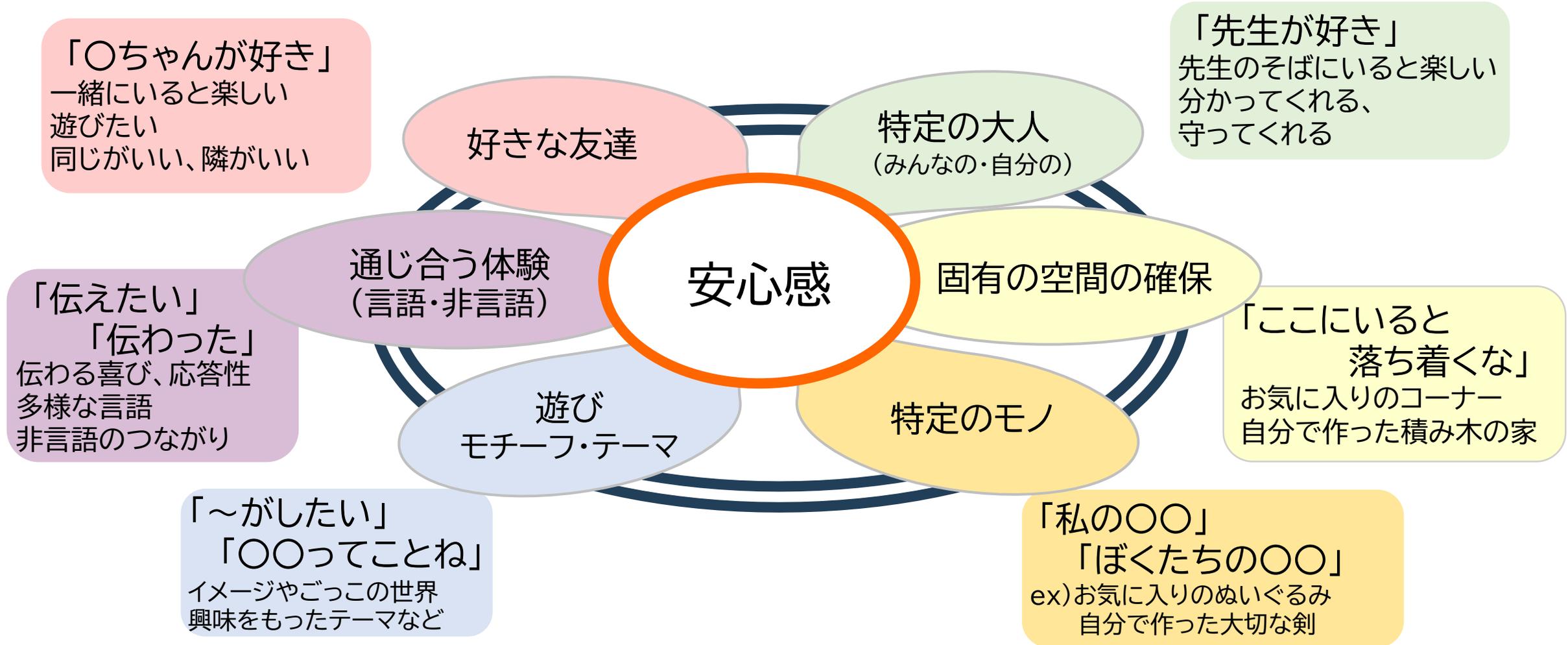
多様性を尊重し、一人一人が輝く幼稚園を目指して

～共に育つ・共に育む 教育課程の編成を考える～

一人一人が安心できることが重要！

事例検討では、「一人一人が輝くためには安心が基盤」ということを、具体的な事例から考えた

考察に用いたカテゴリー

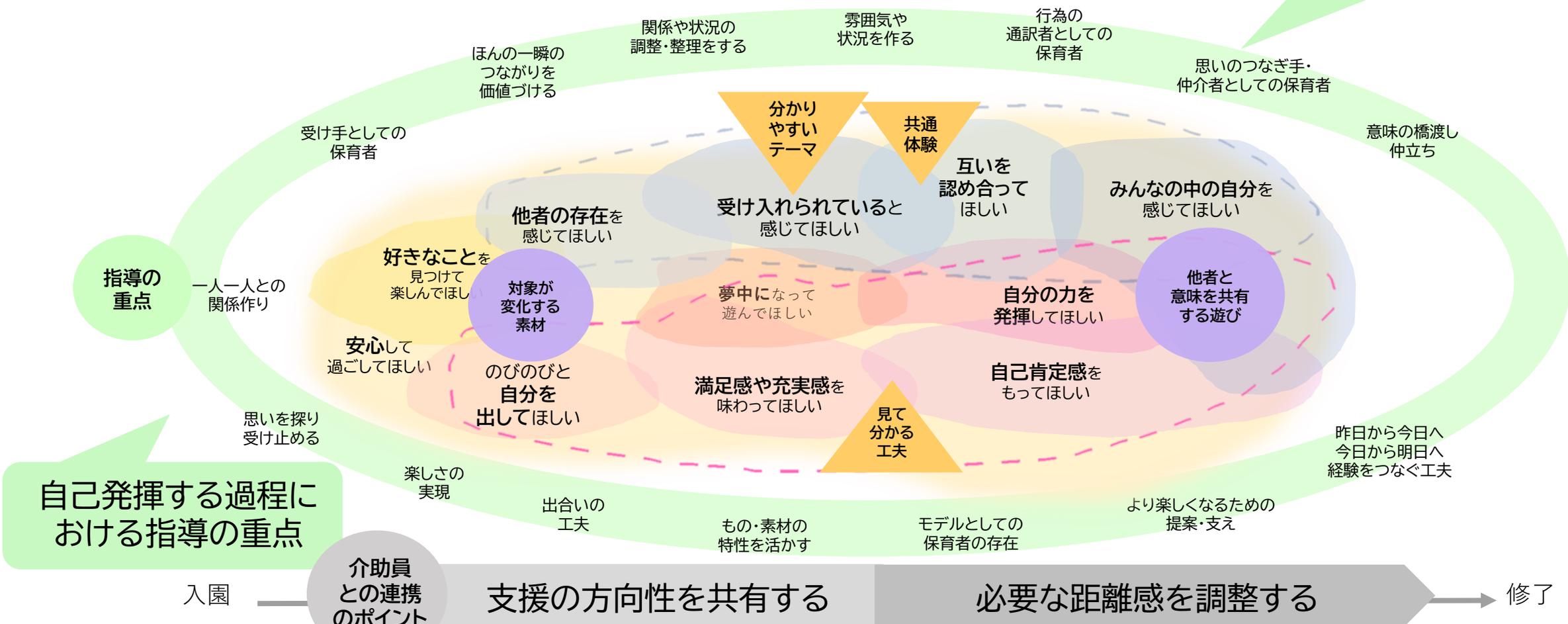


講師の助言を受け、上記6つの「安心感を支える要素」で、もちよった事例を分析考察した

まとめ

(1) 幼児の育ちの流れから考えた指導の重点

関係性の育ちを支えるための指導の重点



そして事例検討から見出した「指導の重点」を、図のように「ねがい」を覆う形に配置した

(2)事例を深める中で分かったこと

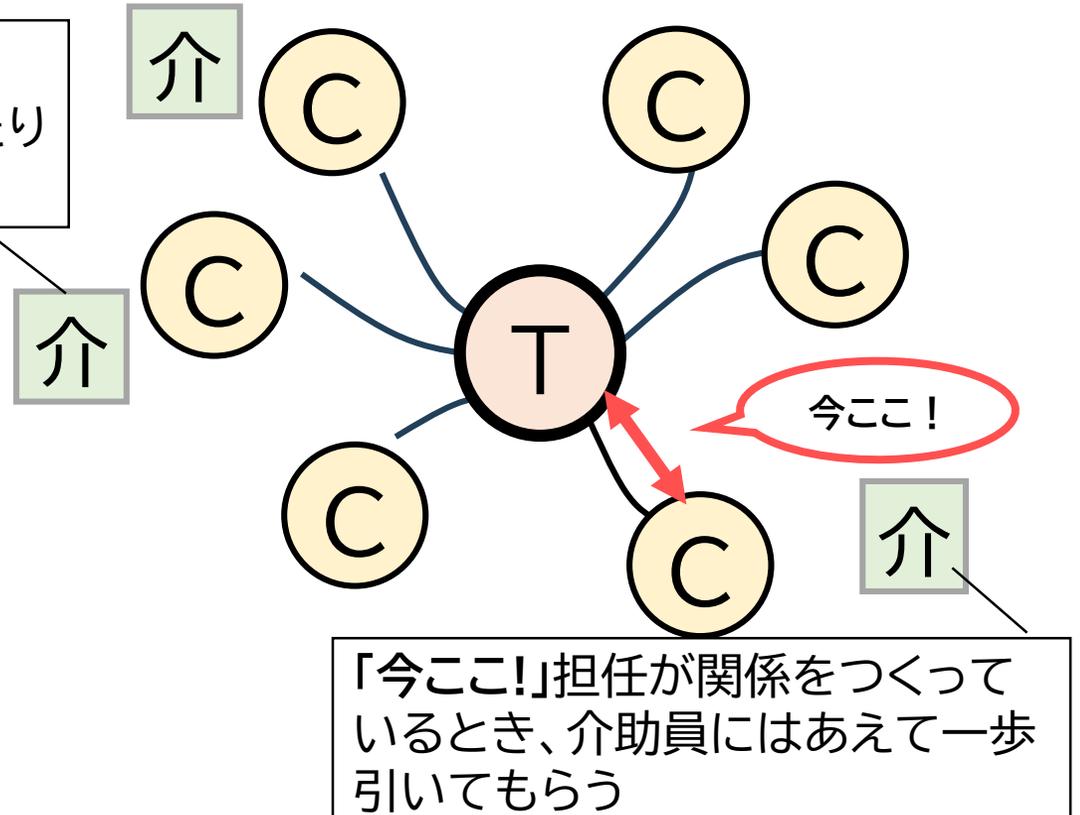
これらの協議と検討から、多様性を尊重し一人一人が輝くために大切だと考えたことを、まとめとして以下に示す

一人一人が安心して自己発揮するために

代理で受け止めたり、必要な情報を収集したりしてもらう

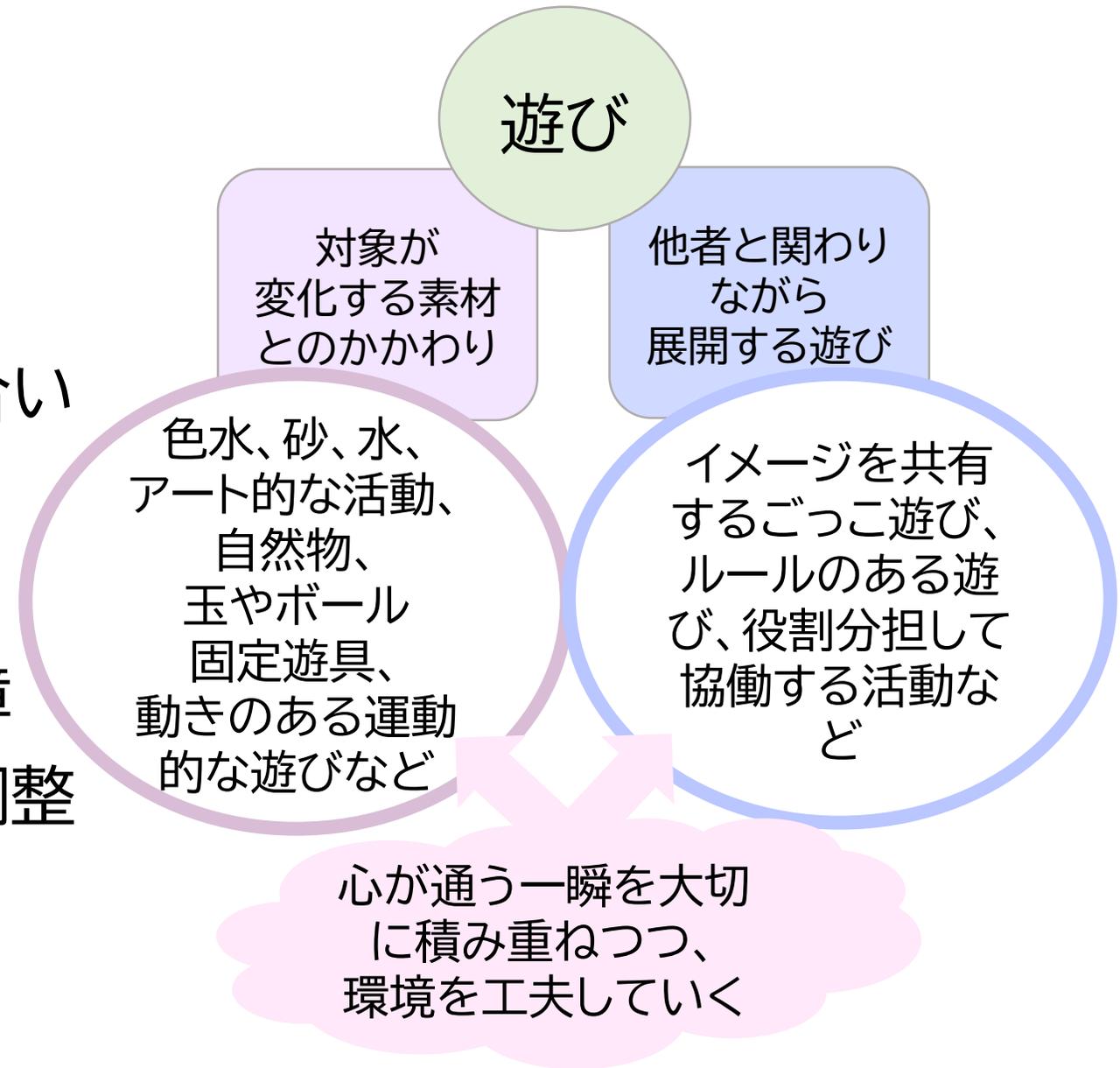
●一人一人の幼児としっかりとつながる

- 丁寧に信頼関係を築いていく。
- 肯定的なまなざしで寄り添う。
- 応答的な関わりを通して、興味や関心、
思いの本質を理解しようとする。
- 教員間で連携・役割分担する。



●「私らしく育つ」を支える

- ・分かりやすく安心できる環境設定
- ・魅力的なものやできごととの出会い
- ・適切な素材の質や量
- ・動き方、遊び方のモデル
- ・それぞれの幼児の楽しみ方の保障
と他児との調整

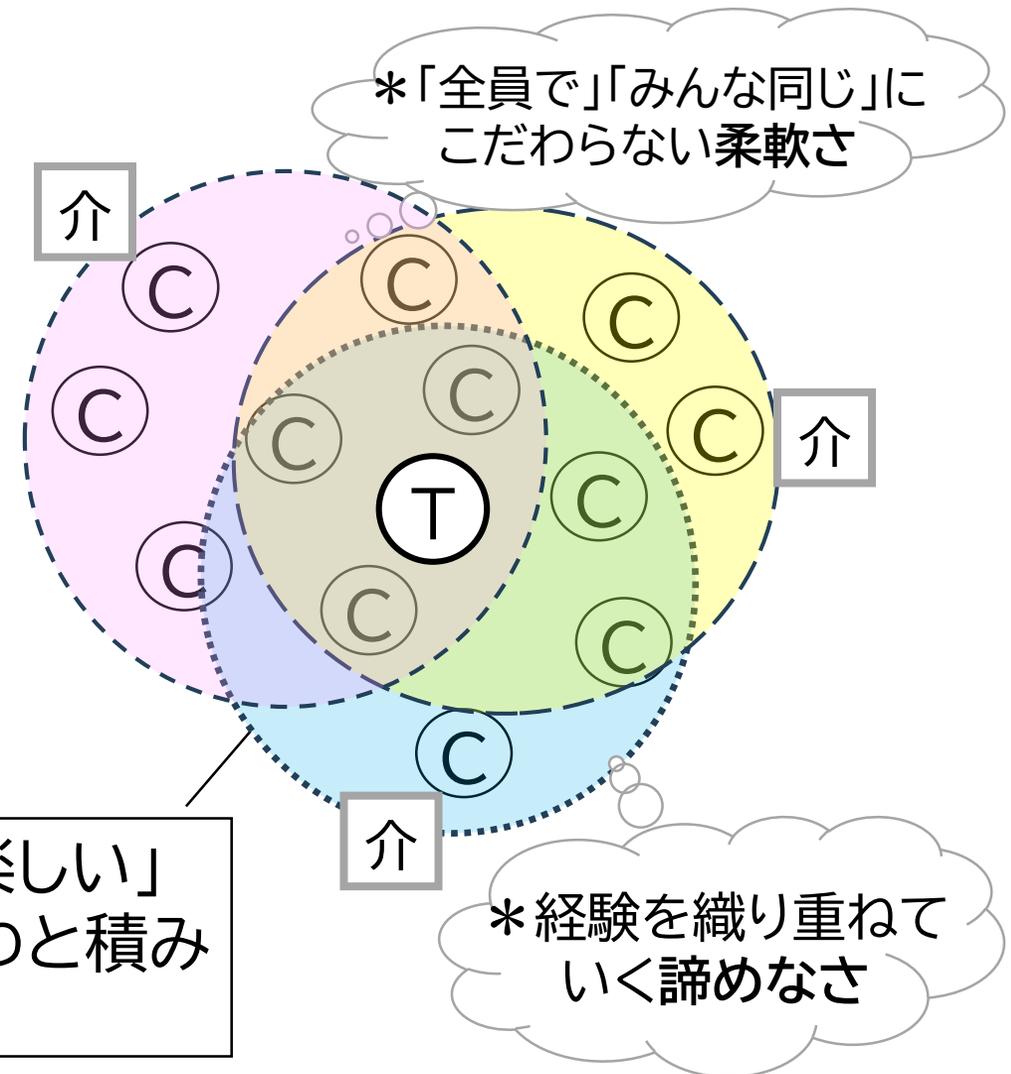


幼児同士の関係を育み共に育ち合うために

●「共に育つ」を支える

- 心と互いの存在に目が向き、一瞬心が通うような経験。
- 温かくやわらかい雰囲気。
- 大まかなイメージやテーマが緩やかにつながる楽しいことやワクワクするようなできごと。

様々な場面で「集団で楽しい」と感じる経験をじわじわと積み重ねる



本研究の詳細をご覧になりたい学校・園・
教育関係の方は、練馬区立光が丘むらさき
幼稚園までご連絡ください

本研究の内容に関しまして、無断の転用・
転載はご遠慮ください